青山御流儀

活華圖大成

桂乃園梓

叙

天造之自然人工之無爲至哉不有不言之教者乎。夫山水之高卑險夷艸木之花實柯葉榮枯代序非自然而何。蓋挿花之爲道出於人工而以自然爲體以無爲爲用及其至也能使寸茎抗于百丈之幹。

杓水敵于萬頃之浪。上可以薦
鬼神。下之可以願性情矣。雅也固
陋。辱受業于
亞相園公之門者有年。邇者奉
敎摘可為後進之模範者一百餘
種。而畫而譜焉。如棒者姓氏及別
號。則注諸各瓶之傍。於是乎。地靡

都鄙。人靡貴賤。宛如晤言乎一室
也。不出戸庭而觀天地之情状者。
其在於斯歟。其在於斯歟。

寛政己酉夏六月

桂月園吉尾春雅謹撰

[印] [印]

櫻

希尹藤公

牡丹

希山藤公

松梅笹

桂月園泰雅

たゞしよは末の人こゝ乃篤卑春秋我
次序四季の寒暖を陰陽せす時のうつ
りかはるをしりて順よくも行乃よく當し
なさしむるこつよしかもとき〳〵ある事多かるへし
但ちの深源花のうらおもてひろき中に
なとゝ乃つゝある風情のまゝいとなむ事の聊
なりぬべきなれはもあるらしおほしこ乃
意をもて はなを生つらし給へし

菊

鸞倰亭

水仙

春眠亭

蘆 水葵

以下知もしおきて為俗字の手を用
ト文字来てあん

常松亭

山吹

野暁

檜扇

沛雨亭

豕子柳　きゝん花

醉霞亭

杜若

来之

梅

珊瑚

賀慶

葉蘭小菊

凌雲亭如洲

大藺(ふとゐ) 杜若

梅遊太君

紅桃

花叉牧君

藤かゝりもの

井上以慶

柳梅椿
水仙

養浩亭交雅

薄紅薔薇（いはら）

松濤館尉壽

柏菜

池田寧樂

水仙

文和

連翹（いたちくさ）
椿
きつやう
李瓊

豕子柳 小菊

五溪

紫苑

把菊子

梅
椿

文鳥

檀特花
木賊

游夢子

晴鷺

薄紅梅

松峯盈

梅嫌 茶梅花（さゝんくハ）

橐吾（つハふき）

指流

斗石

白梅
椿

宝扇

蒲(かま)杜若

初水

沙羅樹(さやらしゆ)

観市

燕子花

武陵

つゝじ

赤城子

河骨

玉樹